

山武中学校・山武南中学校統合準備委員会 第1回PTA・通学部会要点記録

1. 日 時 平成29年6月16日(金) 19時00分から20時55分
2. 場 所 さんぶの森中央会館 1階 ホール
3. 出席委員 22名(代理出席含む/欠席5名)
4. 次 第 (1)開会
(2)あいさつ
(3)議題
①制服・体操服等の選定について
②通学路・通学方法について
③PTA組織について
④その他について
(4)閉会
5. 事務局説明者 学校再編推進室長ほか

議題についての意見の概要は次のとおり。

(1) 制服・体操服の選定について

【事務局の説明】

- 両校の制服・体操服の状況
- 制服・体操服指定の目的・意義
- 制服の良い点
- 必要な配慮
- 制服・体操服のデザイン・統一時期について
- 新しい制服・体操服を導入する場合のスケジュール

- ・制服や体操服は学校のイメージである。新しい学校となるので一新した方がいい。
- ・山武南中の制服はネクタイを結ぶタイプだが、自分でネクタイを結べるのが、自信につながっているようである。ジャージはひっかけるとすぐに横に裂けてしまうので、新しくなるのであれば生地を変えてほしい。
- ・アンケートは、ある程度決まったうえでさらに取るのか、全く決まっていないところで取るのか。時期はもっと早くならないか。アンケートを基に形にしていく方が周りも納得するのではないか。
 - アンケートを実施する方針であれば、年度内の早い時期に実施したい。説明が不足していたが、何種類かサンプルを用意し、どれが良いかを選んでもらうものを考えている。
- ・このアンケートの前に、どういうものかという問いはしないのか。
 - 資料4、5ページのアンケートで、早期に実施できると思われる。
- ・アンケートは子供と保護者に実施してほしい。金額も入ると保護者は判断しやすい。
- ・制服に限らず一新ありきで進めてほしくない。新しい学校ではあるが校舎は既存のもの。山武南中の今の制服を残したり、違う場面では山武中のものを使うなど、既存のものを残してもい

いのではないか。山武南中のネクタイは利点があるのだから、そういう考えもアンケートに入れてほしい。

- ・保護者と話していると、山武南中の制服が気に入っているという声がある。
- ・多数決になると人数が少ない学校側の意見が不利なので、アンケートはあくまで意見を述べてもらうもので、それがすべてではない旨をどこかに記した方がいい。
- ・既存の制服がいいという意見はあるが、兄弟姉妹や譲り受けるなどで着回しができないのは不公平なので、全く違うものにしたかどうかという意見がある。制服の種類ごとに金額を入れて、既存のものか、一新するのか、あくまで参考としてアンケートをとるのがいい。
- ・今着ている中学生がどう思っているのか、生徒会にアンケートを取って、意見をもらうのはどうか。親の意見だけになってしまい、子供の意見が抜けてしまうアンケートになってしまわないか。
- ・皆さんから出していただいた意見を基にアンケートのひな型を早急に作る必要があると思うが、事務局から意見はあるか。
 - 値段の示し方が難しい。機能や素材によっても違い、工程が複雑になるほど値段が上がると聞く。
- ・いいものだけを選べば高額になり、問題が出てくると思うので、先に金額をある程度設定しておかないと難しいのではないか。
- ・実際に制服を着るのは子供たちで、機能性は実際どうなのか。既存の制服も含め、何種類かを決め、そこから子供たちに選んでもらうのはどうか。制服選びをしたことがあるが、サンプルを何種類か置いて意見を聞いた。そのぐらいでないと意見がまとまらないと思う。
- ・ジャージは、成長期でもあるので毎年買い替える可能性もあり、高額ではきつい。デザインは一緒に、材質を変えて2種類作ることが可能なら親は助かる。
 - 現在のメーカーは、小さな型から大きな型まで採寸によって作っており、生地をロットで扱っているため、材質を変えると逆に高くなるのかもしれない。メーカーには確認していないので正確ではない。
- ・アンケートの文面をここで決めてはどうか。そのために集まっているのであり、このままでは話がまとまらない。資料のアンケートは、変わる仮定になっているが、変わらないと考える保護者もいるはず。金額など、その他追加した方がいいものを聞いて、決めてはどうか。
- ・制服を着るのは子供たちで、年頃でもある。生徒会に、今の制服の評価も含め、既存の制服、資料にあるブレザーなどの5つぐらいからアンケートをとってはどうか。デザインの大枠は子供たちが決め、詳細は親が詰めていく。自分たちで制服を決めたという自覚も出る。
- ・両校の生徒会を集めて、意見をもらうことはできないのか。既存の制服をどう思っているのか、新しくするのであればどういうものがいいか。まとめるというよりは、子供がどう思っているかを参考にすること。親同士でもまとまらないのであれば、教育委員会が決めてもいいと思ってしまう。
- ・先生としては、子供たちに話し合わせて、それをどうするのかを心配しているのではないか。
- ・子供たちの意見を聞いて、結果が出るかはわからないが、私たちが集まっている意味があるのか。子供の意見を取り上げても、私たちの段階でまとまらなくなることもある。長期的な話になると、教育委員会に任せた方が楽だが、それでは意味がない。どうしていくのかの基準がないので、それをアンケートで作ればいい。

- ・資料のアンケートは誰に聞いているのかがわからない。1枚目に小学生がどういうものを着たいか、中学生の着心地はどうかなどの意見をまとめ、2枚目には、これから中学生になる子供たちに対してどう思うか、というシンプルなアンケートにすれば答えやすい。
- ・話せば話すほどまとまらないように思う。広く意見を集めてとなると思うが、逆に事前アンケートでは絞れるものは絞り、その後の詳細を詰めるときにブレザーでなどの制服の種類や金額などを具体的にして、シンプルに進めてた方がいい。

【部会長より】

- ・アンケートを実施した方がいいというのは統一の意見で、対象者と、聞く内容を詰めた方が早く決まるという意見もあった。
- ・2年先の統合を見据えて、どの段階でどこまで決めるのかが大事になる。そのためにはアンケートの内容にどこまで意見を反映させて組み立てるのがわからないと判断がつかないと思う。
- ・アンケートは、文字だけではなく、視覚的なものが入るとわかりやすい。
- ・ここでアンケートを一つの形にしていくことは難しいと思うので、ひな型に皆さんの意見を反映させ、内容を詰めていく方がいいのではないか。
- ・次の会議で事務局からアンケート案を提案してもらい、話し合いたい。

(2) 通学路・通学方法について

【事務局の説明】

○通学方法の検討

○通学する際の通学路の選定、危険箇所の把握・対策

- ・スクールバスが利用できる対象は、日向小と山武西小だけになるのか。山武北小や睦岡小は対象になるのか。
 - 導入についての考えを伺いたい。導入するのであれば、一定の基準が必要。スクールバスは安全対策になるが、時間的な制約が発生するなど、メリットもデメリットもある。
- ・山武中だけであったとき、自分たちの世代は自転車や徒歩で通っていたので、自転車通学はいいと思う。今後、小学校の統合も控えているので、むしろ児童の方にバスの予算を配分した方がいいのではないか。
- ・スクールバスを設定すると、部活動に参加する生徒が、時間の制約があってバスに乗れないという問題があるかもしれないので、自転車通学でいい。
- ・距離的にも中学生で自転車ということであればスクールバスは必要ないと思う。体力をつけるという意味でも、安易にバスを出すということには賛成しない。
- ・山武中の一番遠い生徒は6km以上の自転車通学。不審者も多い中、保護者の送迎がほとんどで、統合すると現在の山武中の駐車場は手狭となる。直線距離で6kmであっても、細い道を通ったり、早く着けばいいということでもない。そういうことも前提に考え、スクールバスなしで話を進めないでほしい。
- ・事務局は、いつまでに意見を聴取し、どういう意見が聞きたいのか。
 - 市では防犯灯の設置を行っているので、暗い場所など、防犯対策のポイントを知っておきたい。バスの運行については、予算が伴うことでもあり、長期というわけにはいかないが、防犯対策とあわせ少し時間をかけたい。

- ・成田市や酒々井町の自転車通学の生徒は、雨天時には白色の合羽の着用で統一されているが、こちらでは目立たない色の合羽の着用が多く危険。制服の選定とあわせ、合羽も白と決めてほしい。実際に、夕方の闇に紛れて危ない様子を見ており、指定できないかと思っていた。
- ・伸びた草が道路にはみ出し、危険個所になっている。通学路の除草も必要。
- ・県道成東・酒々井線から山武南中に向かう道路は広いが、山武南中が開校する前から準備し、10年ぐらいかけて整備されたもの。防犯灯は低価格で対応できるが、道路は長期になることもあるので、要望を絞っていくことも必要。
- ・日向小や山武西小学区から山武中へ向かう途中で急な坂があり、途中で狭くなったり、車がスピードを出していたりして心配。
- ・年ごとに通学路ではなくなったり、新たに通学路になるところもあるので、継続的な調査は必要。限りなく遠い生徒が出てくることもあるので、スクールバスの選択肢も残しておいた方がいい。
- ・山武中の自転車通学の生徒は正門を通らない。裏門や給食センター側から入って自転車置き場に着く。入る場所によって通学路が変わる。
- ・保護者の送迎は正門を使用している。球場側にも駐車場を作ってもらいたい。駐車場が2か所確保できると、保護者の送迎にも対応できる。
- ・危険箇所の把握で、事務局で方法論的な案があるか。
 - 今年旧山武町地域で交通安全プログラムが実施される。すべて要望通りにはいかないが、何かしらの対応をしてくれることもある。児童や生徒に通学ルートを地図に落としってもらうことも考えていたが、そこまでの調査ができていない。
- ・さんぶの森には、子供たちが遊びや部活動で行ったことがあると思うので、さんぶの森をベースにすれば、どこを通るのか、子供たちも意外と把握しているのではないか。
- ・実際に学校まで歩いたら、車とは全くイメージが違った。車を使わず、徒歩か自転車でテストしてもらおうと、どれだけ危険かよくわかると思う。保護者にもできれば確認してみてください、と伝えた方がよりリアルにわかるはず。
- ・バスは何台ぐらい用意できるのか。停留所は具体的にどこにつけられるのか。
 - 基準があればある程度の台数やルートが考えられるが、対象者が不明確なので答えが難しい。
- ・対象者を基にバスの台数を決めるのか、それとも出せる台数が先にあって対象者が絞られるのか。
 - 対象者を決めてからバスの台数が決まるので、積算も難しい。

【部会長より】

- ・一つの方向性ではなく、いろいろな可能性を含めての検討が必要ではないか。
- ・危険箇所は、学校や保護者を通して把握することになると思われるが、把握する方法をどうするのかの検討が必要となる。
- ・各家庭で把握している危険箇所の情報を集約し、それを基に誰がどのように対応できるのか判断していくことになるのではないか。
- ・保護者の送迎による駐車場の状況など、施設上の課題もある。
- ・どのように意見を集約していくのか、事務局でひな型を作成し、次回会議で皆さんの意見を反映させていきたい。

- ・スクールバス導入の検討にあたって、通学距離や想定されるルートなどを事務局で用意してもらいたい。

(3) P T A組織について

【事務局の説明】

- P T A規約対照表
- 各 P T A事業計画

- ・ 補足で説明してほしいが、各 P T Aに何をどう検討してもらいたいのか。
 - 新旧対照表を配布しているが、新しい規約を作る場合、どういうものかについて考えていただきたい。
- ・ 現 P T Aがある程度決めるのか。文言が違うだけで、内容や行事もほとんど変わらない。家庭数が変わるので予算は変わるが、話し合うポイントを決めるということでいいのではないか。
- ・ どちらも内容はほとんど変わらない。規約が現状に合っていないなど変えた方がいい項目について、お互いの学校で直してから話し合うのがいい。
- ・ 役員で話し合った方がいいとのことだが、両校で規約案を作り、確認してもらおうということではないか。ここで話し合っても時間がかかる。
- ・ 規約の改正をするのは統合してからでいい。4月の総会で決めればいい。
- ・ 山武中の役員数が多いようだが、役員が決まらないということはないのか。
 - アンケートを取り、3年に1回は役員になる方式。統合したときに家庭数が大幅に増えるので、専門部のことは検討する必要があると思う。
- ・ 役員を長く務めている人もいれば、決まらない年もある。決めるときの算段が大事になるのではないか。規約はどちらに寄せてもあまり変わらない。

【部会長より】

規約については、統合してから調整する、統合する前に追加や書き換えなどの意見をもらい新組織に引き継ぐなど、いろいろな意見があると思うので、各 P T Aで話し合っただけで次回会議に臨んでいただきたい。事業についても調整した方がいいなどの意見があればこの場に出していただきたい。

(4) その他について

【事務局の説明】

- ホームページ掲載イメージ
- 「統合準備委員会だより」の発行について

- ・ 名前が掲載されるのか。
 - 会議録には発言者を掲載しないが、誰がどこで話しているのかが何もわからないというわけにはいかないなので、委員の構成までは掲載させていただきたい。

【全体のまとめ】

- ・ 体操服・制服については、アンケート案を事務局で提示する。

- ・通学路・通学方法については、意見をもらう方法、ルート案を作成する。
- ・PTA組織については、各校で必要に応じて話し合う。

【次回について】

資料の作成期間をいただくが、1、2か月以内には開催したい。学校の都合を聞き、調整する。
時間帯と会場は今日と同じとし、早めに知らせる。